

早稲田大学 笹原教授による 漢字文化講座と「漢字」の授業公開



十月二十日、福井県立科学技術高等学校で、早稲田大学教授笹原宏之先生が国語の授業を実践されました。

笹原先生は、前日の十九日、若狭図書館習センターのマナビフェスティバルで漢字文化講座「漢字と日本語」の講師を務められました。日本で生まれた漢字についての興味深いお話や、福井県の方言等についても話され、話し言葉だけでなく、文字にも地方独特のものがあることなどを教えてくださいました。

授業では、生徒と対話しながら、日ごろ使っている言葉についての楽しいエピソード等をおして、「言葉は人が作っていく」ということを教えていただきました。その後、「象形文字リレー」というゲームを実施。最初の人が見た文字を、暗記して、書いて次の人に伝えるというもので、初めに提示された形から大きく変わってしまうゲームもあり、大変盛り上がりました。このゲーム



ムで話し言葉だけでなく、文字も変化してきているということを実体験することができました。

この授業は「日本語」に関心をもち豊かな言葉の使い手を育成するという目的で、笹原教授からご提案があり実現しました。生徒たちは笹原教授のお話に引き付けられ、有意義な時間を過ごしました。

